

昭島市障害者プラン(素案)におけるパブリック コメント実施等に伴う主な修正箇所について

1 パブリックコメントに伴う主な修正・訂正箇所

修正後	修正前
P90 削除	P89 113番 ヘルプカード・ヘルプマークの普及・啓発事業
P66 項番25の次に26番として『ヘルプカード・ヘルプマークの普及・啓発』を追記。 (それ以降の項番は、順次繰り下がる。)	
P79 (3) 居住系サービスの提供 【施策の方向】の二点目『障害のある方』	P79 (3) 居住系サービスの提供 【施策の方向】の二点目『精神障害のある方』
P86の項番106 『社会参加を促進するため、屋外での移動が困難な障害のある方を対象に、外出時の支援を行うガイドヘルパーの派遣を柔軟に行います。』	P86の項番106 『屋外での移動が困難な障害のある方を対象に、福祉サービスの利用あるいは社会参加へのきっかけとしても有効である、外出時の支援を行うガイドヘルパーの派遣を柔軟に行います。』
P89 項番 116 『～参画を図ります。あわせて学校避難所以外の～』	P89 項番 116 『～参画を図ります。また、学校避難所以外の～』

2 その他の主な修正箇所

修正後	修正前
P 5 第5次昭島市総合基本計画の矢印部分 3年度まで	P 5 第5次昭島市総合基本計画の矢印部分 2年度まで
P10 『6 難病医療費等助成受給証所有者』 令和元年度数 『1,044』	P10 『6 難病医療費等助成受給証所有者』 数値照会中
P11 特別支援学級 (固定学級) 固定学級に在籍する知的障害、情緒障害などの児童・生徒の数は、令和2年5月1日現在、小学校が93人、中学校が61人となっています。	P11 特別支援学級 (知的障害固定学級) 令和2年5月1日現在の特別支援学級数は小学校が12クラス、中学校が6クラスで、在籍者数は小学校が78人、中学校が45人となっています。
P11 特別支援学級の在籍者数 30年度の中学校 45、令和元年度小学校 77、中学校 55、 令和2年度の小学校 93、中学校 61 (情緒障害のクラスが新たに出来たため。)	P11 特別支援学級の在籍者数 30年度の中学校42、令和元年度小学校57、中学校45 令和2年度の小学校78、中学校45
P15 3就労状況の表、障害者雇用の推移 (民間企業と(昭島市)とも区分の表示 『年』 民間企業の資料:東京労働局の後に 『(各6月1日現在)』と追記。	P15 3就労状況の表、障害者雇用の推移 (民間企業と(昭島市)とも区分の表示 『年度』
P20 療養介護 2年度 計画値 660人日	P20 療養介護 2年度 計画値 —
P71 親子発達支援事業 小集団の子どもとその保護者での活動や遊びを通して、要配慮児童の心身の発達を促すとともに、その保護者が子どもの発達の状態や障害特性に	P71 要配慮児童への支援 心身の発達において特別な配慮が必要と思われる児童の保護者が数組の親子での活動や遊びを通して、子どもの特性に気づき、きめ細やかな保

修正後	修正前
早期に気づき、子どもの成長発達を促す関わり方や環境の配慮を学ぶことにより、子どもの適切な療育・支援につなげるための昭島市親子発達支援事業を継続して実施します。	護者支援の中で子どもの成長発達を促す関わりや環境の配慮を学び、子どもを必要な支援につなげるための親子発達支援事業を継続して実施します。
P75 (1) 訪問系サービスの提供 【現状と課題】の二点目 『医療的ケア児』 同ページの【施策の方向】の三点目 『医療的ケア児』	P75 (1) 訪問系サービスの提供 【現状と課題】の二点目 『医療的ケアを必要とする方』 同ページの【施策の方向】の三点目 『医療的ケアを必要とする方』
P89 【現状と課題】 6行目 水害にあうリスクの高い土砂災害警戒区域内に居住している方や浸水想定区域内に居住している～	P89 【現状と課題】 6行目 水害にあうリスクの高い浸水想定区域内に居住している～
P89 【現状と課題】 16行目 市では、避難所となる各小・中学校において	P89 【現状と課題】 16行目 市では、一次避難所となる学校避難所において
P90 3行目 土砂災害警戒区域内に居住している方や浸水想定区域内に居住している～	P90 3行目 浸水想定区域内に居住している～
P90 項番116 災害時の避難所となる～ ～あわせて学校避難所以外の二次避難所（福祉避難所）の運営マニュアルの策定～	P90 項番116 災害時の一次避難所となる～ ～また、学校避難所以外の福祉避難所の運営マニュアルの策定～
P91 項番118 土砂災害警戒区域内に居住している方並びに多摩川・残堀川の浸水想定区域内に～	P91 項番118 多摩川・残堀川の浸水想定区域内に～
P106 サービスの質を向上させるための取り組み 障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果の共有回数 1回	P106 サービスの質を向上させるための取り組み 障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果の共有回数 12回